



▲力強く分列行進

# 無火災の誓い新たに 奥出雲町消防出初式

平成二十一年の新春を飾る、奥出雲町消防出初式が一月四日、横田中学校体育館で行われ、地域の防火・防災活動に貢献する消防団員としての意識の高揚を図り、気持ちを引き締めて新年のスタートを切りました。

式典には、新入団員二十五名を含む町内九分団、五百八十三名が参加。各種功労者への表彰、長年消防活動に尽力してこられた、前統括副団長の石田正博さん、前副団長の石原博さんをはじめ、退団される六十二名の方に岩田町長から感謝状が贈られました。

安部正教団長からは「昨年は、町内で十一件の火災が発生するなど、自治体消防の役割が改めて注目されました。みなさんは郷土を守る消防団員として誇りを持ち、今後の活動に取り組んでほしい」と訓示がありました。

式典終了後、JR横田駅前の通りに場所を移し、多くの町民、来賓の方が見守る中、

全団員が四十八台の消防車両と共に力強い行進を披露。最後に斐伊川へ一斉放水が行われ、今年の無火災を祈りました。

消防団では昨年、両地域で行っていた夏期総合訓練、操法大会を一本化して実施したほか、今年一月から定員六百七十一名から六百十五名とする組織再編を行いました。

町では、三月に三分団、来年度は三沢分団へ最新鋭のポンプ車を配備する予定で、一層の消防施設拡充と団員の処遇改善に努めて参ります。



▲一斉放水の様子

## 年越しに勇壮な響き

### 仁多乃炎太鼓 年越し演奏会

新年を迎える恒例イベント、仁多乃炎太鼓年越し演奏会が、三成の仁多土木事業所前の広場で行われました。

「響け希望の年へ」をキャッチフレーズに、来る年が町民の皆様にとつて希望に満ちた年となることを願って始められた演奏会も、今年で十七回目を迎えました。

同炎太鼓の新曲が始まり、「たたたら囃子」、「深山」などお馴染みの曲や町内の子供たちで結成されている仁多乃飛炎太鼓の元気な演奏が披露されました。

新年を迎え、仁多乃炎太鼓の山田孝之助会長をはじめ、岩田町長から年頭のあいさつがあり、フィナーレでは「打てや囃さん」の曲に合わせて、訪れた多くの見



▲演奏会の様子

本の伝統芸能を代表して、フランスのストラスブールにおいて、今回で三回目となる国際公演に参加するなど活躍しました。

## 札に集中 真剣勝負

### 新春百人一首大会

新春恒例の百人一首大会が一月七日、横田コミュニティセンターで開催され、お正月らしい雰囲気を楽しみました。大会は、百人一首の会「山里会」（藤原郁子代表、会員二十人）と横田公民館が、毎年開催しています。

小学生から高校生までの児童・生徒や山里会の会員など約六十人が、一対一の試合や源平戦などを行い、和やかに腕前を競いました。

参加者は、山里会の会員で公認読手の千原富美子さんが上の句を読み上げるたびに、じつと目を凝らして畳の上を並んだ下の句を探し、真剣に札を取り合っていました。

またこの日は、昨年級位認定を受けた九人の児童に、認定証が贈られました。



▲真剣に札を取り合う参加者

## 更なる精進を誓う

### 剣道越年稽古

今年も剣道越年稽古が、大晦日から元旦にかけて、仁多中学校武道場において行われました。

仁多郡剣道連盟と仁多中学校が主催するこの稽古会には、町内の小・中学生、横田高校の剣道部員、帰省中の大学生、社会人、松江市などから、約八十人の剣道仲間が顔を揃えました。

午後十一時から始まった稽古会では、恩師の先生や先輩

の胸を借り、掛り稽古、切り返しなどを行い、剣を交えて交流を深めました。

また、新年を迎えると、同剣道連盟の米原清治会長や岩田町長からあいさつがあり、平成二十一年の初稽古が行われました。

参加者は、一年間の稽古を振り返るとともに、新年への新たな精進を誓いながら、心地よい汗を流しました。



▲新年を迎え、稽古始め式

## 小学生新聞コンクール

### 勝部俊輔君(阿井小・一年)が特別賞

小学生新聞コンクール「私とみてつ」において、勝部俊輔君の「しゅんすけしんぶん」が最優秀作品(一点)、優秀作品(五点)に次ぐ、審査員特別賞に輝きました。

同コンクールは、子供たちに民鉄に対する関心と理解を深めてもらうことを目的に、日本民営鉄道協会が昨年からの募集しているもので、今回は全国二百三十三校から九百七十六作品の応募がありました。四歳頃から電車に興味を持つていたという勝部君は、学

校から応募の話聞き、県内で唯一の民鉄である一畑電車をテーマに、実際に乗車して列車の特徴などを取材し、写真を撮るなどして作品づくりを進めました。

作品には、日本で一番古い「デハニ50」や自分でパソコンを使って作製したペーパークラフトによる電車づくりなどが紹介されています。

勝部君は「先生から賞の話を聞いてびっくりした。電車も好きになった」と話してくれました。



新聞コンクール表彰式



勝部君は「先生から賞の話を聞いてびっくりした。電車も好きになった」と話してくれました。